

麻生区区民会議 第4回専門部会『(仮称)麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成29年4月11日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員、吉垣君子委員
（欠席）石井よし子委員、橋本周委員
[事務局] 企画課 安藤課長、鈴木
[コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. 調査・審議課題の検討について

(1) これまでの審議内容の振り返り

- ・『(仮称)麻生区の魅力発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返った。

(2) 今後の検討内容・検討方法を考える

1) 検討の進め方

- ・コンサルより「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の説明を行った。
- ・事務局より「かわさきイベントアプリ」の紹介を行った。

【決定事項】

- ・今後は、発信方法の検討を深めるとともに、麻生区の魅力を子育て世代という切り口で再整理した上で、発信する主体の検討を行う流れとなった。また、9月の子育てフェスタで何らかの取り組みを行うことの合意を得た。

【主な意見】

- ・川崎市シティプロモーションプランの考え方を踏襲しつつ、麻生区独自の路線で考えていけばよいのではないか。
- ・子育て世代というターゲットが決まっているのだから、子育て世代という切り口で考える必要があるのではないか。
- ・発信方法にはそれぞれ違いはあるが、何を発信するかが重要ではないか。興味を持たないものに関しては、そもそも見てもらえないため、魅力の中身を並行して考える必要がある。

2) 発信方法と発信する魅力の明確化

- ・発信方法と発信する魅力について意見交換が行われた。

【主な意見】

- ・インターネットの検索が情報収集のメインになっているため、麻生区役所のホームページへのリンク付けやSNSの活用も一つの手段ではないか。
- ・インターネットに関しては、調べたい情報しか検索しないため、紙ベースの情報も必要ではないか。
- ・転入者が最初に接するのは役所の窓口であり、そこで紙ベースの情報を配布するのも有効であると思う。子育てで母子健康手帳の交付で行政と関わる。また、親同士の口コミも効力があると感じる。
- ・SNSに関しては、情報発信の難しさも感じている。興味を持たれない情報は発信してもスルーされてしまう。一方、想定していなかったイベントに反応してもらえる場合もある。
- ・麻生区の魅力に関するシンポジウムの開催も一つの手ではないかと思う。
- ・魅力に関する行事やイベントの年間スケジュールがあると良いのではないか。せっかく魅力的な行事やイベントがあっても気づいた時には終わってしまっている場合がある。
- ・キャッチコピーや既存の情報配布媒体の洗い出しも有効ではないか。
- ・魅力を知っているか、という投げかける方式が有効ではないか。
- ・子ども向けの体験型イベントは、その親にも魅力を知ってもらえる。
- ・体験型イベントに関しては、農業を例に出せば、誰がどこでやるのかという課題がある。
- ・市民活動が盛んという意味では、現状子どもが参加できるイベントが結構ある。ボーイスカウト、ガールスカウトの活動も盛んであり、それを周知する必要があるのではないか。
- ・親に対して子ども世代に良いということを伝えられる内容とする必要があると思う。

3. その他

- ・次回までに、各委員は子育て世代の切り口で見た麻生区の魅力を考えてくることとした。

以 上